

原水爆禁止2014年世界大会激励メッセージ

「原水爆禁止2014年世界大会」にご参加ならびにご支援の皆様、また平和を願って展開されます皆様方のご活動に対し、心から深く敬意と謝意を表します。

今年は、広島、長崎に原爆が投下されてから69年を迎えます。戦争を知らない世代が増え、悲惨な戦争が私たちの記憶から少しずつ薄れつつある今、私たちは、核の恐ろしさを訴え、核兵器の廃絶と戦争のない平和な社会を次の世代へと確実に引き継いでいく責務があります。

本市におきましては、非核平和都市宣言や人権文化をはぐくむまちづくり条例に基づき、恒久平和とすべての人々の人権が尊重される人権文化豊かなまちづくりを市民の皆様と力を合わせ取り組んでいるところです。核兵器の廃絶を求め、2010年6月1日には平和市長会議に加盟するとともに、各国政府等が遵守すべきプロセスなどを定めた「ヒロシマ・ナガサキ議定書」に署名を行いました。

今後とも、より一層の非核平和都市活動の普及に努めてまいりますので、皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに「原水爆禁止2014年世界大会」に参加されました、皆様の熱意に重ねて敬意を表しますとともに大会の成功を祈念いたしまして、激励のメッセージとさせていただきます。

2014年6月27日

四條畷市長 土井 一憲